

わたぼうし



福岡県若年性認知症サポートセンター

6月26日(日)に**未払い行動を考えるシンポジウム**を行いました。当日は会場に50名の方が参加され、オンラインでは260名の方が参加されました。シンポジウムでは、福岡県警や60市町村(政令指定都市も含む)、県内全ての地域包括支援センターへの「未払い行動に関するアンケート調査」結果や分析を発表しました。

その発表をうけ、当事者:丹野智文氏 医師:内田直樹氏 行政:原舞氏 認知症介護研究研修東京センター:永田久美子氏 KAERU 株式会社:岡田知拓氏が「未払い行動」へそれぞれの立場から考えられる事を発信されました。今後は万引きではなく「未払い行動」という言葉や症状が広く認知され広がっていくための良いスタートになったシンポジウムで

参加者の感想



現地

地域でその人らしい生活が安心、安全に行えるよう、こうしたシンポジウムや学習会などどんどんやっていく事は大切なことと思います。いろいろな機会を作ってほしいと思います。



オンライン

万引きと聞くと犯罪であるが、犯罪を起こそうと思わずに行動されてしまった方に未払い行動という言葉がとてもしっくりくると思いました。もっともっと認知症について地域での理解がすすめば、住みやすい街づくりができると思いました。



現地

希望をかなえるヘルプカードについて当事者と話をし買い物先の企業、入居施設職員等とも一緒に話をする機会を作り未払い行動の前向きな解決に取り組みたいと思います。



オンライン

心情的なものだけでなく、多方面な観点でプレゼン・議論があったのが良かった。「工夫すればいい」という一言ではなく、具体的にその場にあったものを本人さん中心に色々な切口で考えていく必要があると思った。1つの答えはないと思うが多くの事例を蓄積して他の方の参考になればいいと思う。

今後は、当サポートセンターのホームページ内にある「note」にて活発的な意見交換が出来ればと思っております。

※未払い行動を考える場(note)QRコードからページをご覧ください。



//information//

“出会い”と“話し合い”に基づく

認知症の人と家族への一体的支援プログラム研修

令和4年8月4日(木)にオンライン(zoom)で“出会い”と“話し合い”に基づく認知症の人と家族への一体的支援プログラム研修が開催されます。対象は福岡県内の市町村職員・地域包括支援センター・認知症地域支援推進員の方、講師には東北福祉大学総合福祉部准教授、認知症介護研究・研修仙台センター研修部長の矢吹知之氏、未払い行動を考えるシンポジウムにもパネラーとして登壇した丹野智文氏、大牟田市認知症ライフサポート研究会代表の梅崎優貴氏が参加していただきます。

令和4年4月～6月の相談件数は **47件** でした

受託法人：特定非営利活動法人たすけ愛京築

お問い合わせ先

TEL：0930-26-2370

〒824-0004

FAX：0930-37-1873

福岡県行橋市金屋649-1

E-mail：jakunenfukuoka@gmail.com



メール



ホームページ